

1 枚目

無線局事項書及び工事設計書				
1	免許の番号			
2	申請（届出）の区分 ☐ 開設 ☒ 変更 ☐ 再免許			
3	無線局の種別コード 構内無線局の場合は「LO」、陸上移動局の場合は「ML」			
4	開設、継続開設又は変更を必要とする理由 例）組織の整理統合により、本店住所を移転しましたので、住所変更及び常置場所の変更を申請します。			
5	法人団体個人の別 ☐ 法人 ☐ 団体 ☐ 個人 いずれかをチェック			
6	住所 都道府県—市区町村コード— 〒（ ） 電話番号（ ） フリガナ			
7	氏名又は名称及び代表者氏名			
8	希望する運用許容時間			
9	工事落成の予定期日 ☐ 日付指定：____.____.____ ☐ 予備免許の日から____月目の日 ☐ 予備免許の日から____日目の日			
10	運用開始の予定期日 ☐ 免許の日 ☐ 日付指定：____.____.____ ☐ 予備免許の日から____月以内の日 ☐ 免許の日から____月以内の日			
11	無線設備の設置場所又は常置場所	区分	☐ 設置場所 ☒ 常置場所	
		住所	都道府県—市区町村コード—〔*不明な場合は記入不要〕 無線機を常置している場所を記入。 変更する場合は、変更後の住所を記入。	
		船舶名	フリガナ 記入不要	
		主たる停泊港又は定置場		
12	移動範囲 基本コード〔YまたはN〕 付加コード〔 〕 基本 構内無線局の場合は「Y」、陸上移動局の場合は「N」			
13	無線局の目的コード GEN ☐ 従たる目的			
14	通信事項コード GEN			
15	通信の相手方 免許人所属の無線設備			
16	識別信号 記入不要			
17	電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力 例） A1D 916.8 918 919.2 920.4 MHz 1W （変更する場合は、変更後の「電波の型式」、「周波数」、「空中線電力」を記入）			
無線工事設計書（検定合格機器又は適合表示）	18	送信機	ATIS番号 個体識別コード 検定番号 適合表示無線設備の番号 製造番号	
			記入不要	
			適合表示無線設備の番号を記入してください。 （技術基準適合番号、認証番号）	
			必ず記入してください	
	19	空中線	空中線型式等 高さ(m) 利得(dBi)	基本コード 付加コード 偏波面コード
	20	附属装置	コード 補足事項 制御装置を接続する場合など、該当する場合に記入	
	21	その他の工事設計 電波法第3章に規定する条件に合致する。		
22	備考			

23 無線局の区別			(局分)			
工事設計書 (検定合格機器又は適合表示無線設備を使用する場合を除く。)	24 送信機	通信方式コード				
		通信路数				
		A T I S 番号				
		個体識別コード				
		周波数	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲			
			定格出力(W)			
			低下させる方法コード			
			低下後の出力(W)			
	変調方式コード					
	製造番号					
	25 空中線	空中線型式等		基本コード	偏波面コード	
		高さ(m)				
		利得(dBi)				
	26 給電線等	給電線損失(dB)				
		共用器損失(dB)				
		その他損失(dB)				
	27 空中線に関するその他の事項		□構成が複雑で記す。		構成を別に添付す	
	28 附属装置	コード			足事項	
29 その他の工事設計		□電波法第3章に		一致する。		
30 添付図面		□無線設備系統図				
31 備考						

適合表示無線設備(技術基準適合、設計認証設備など)を使用する場合は記入不要